

麻生区区民会議 第4回 (仮称) 市民活動・絆づくり検討部会 議事要旨

1 開催日時：平成29年3月1日(水) 午後3時～午後4時20分

2 開催場所：麻生区役所第3会議室

3 出席者：[専門部会委員]

植木昌昭委員、緒方保委員、海崎真委員、佐藤昇平委員、佐野幸子委員、鈴木隆広委員、
高橋慶子委員、松田通委員

(欠席) 池松勝年委員、関根秀勝委員

[事務局] 企画課 井上課長、榎本 [コンサルタント] 中島

4 傍聴者：0名

5 議事

1. 調査・審議課題の検討について

(1) 第3回部会の振り返りについて

- ・前回の議事確認のため、前回部会の内容を振り返った。

(2) 第3回全体会議の資料について

1) 第3回全体会議提出資料案1～3について

- ・2. 審議テーマの説明内容として、担い手を作る仕組みをどのように作るかという視点を強調することとした。

2) 第3回全体会議提出資料案4について

- ・第3回(仮称)市民活動・絆づくり検討部会での議論を深めるため、今後の検討内容について意見交換を行った。
- ・本日出された主なアイデアは以下の通りである。
 - 地域活動をPRする機会、知る機会を増やす仕組みに関する検討の必要性 (Facebookの活用等)
 - 活動拠点の確保に関する検討の必要性 (行政施設、民間施設の活用 (CSRへの期待) 等)
 - 参加者の負担を減らす方法 (資金面) に関する検討の必要性 (行政による支援等)
 - 人材の掘り起こし・育成の必要性 (地域コーディネーターやリーダー)
 - 活動のキーマンと担い手となる人を結びつける場の検討の必要性 (講座、集まり)

【主な意見】

- ・麻生区内の地域活動を紹介していくことも必要だと思う。
- ・麻生区では地域活動団体が増えているが、拠点が足りない。
- ・地域に一つ「まちかどカフェ」があると、仲間づくりのきっかけになるのではないか。
- ・健康づくりの活動を行っているが、行政も共催から後援という形になってしまったため、資金面の負担が出てしまっている。参加者の交通費がかさむため、趣味でやっている人が担い手となるためには、

資金面も現実的な問題であるのではないか。

- ・熱意を持った地域コーディネーターを育てないと、議論の段階から実行に移らない。地域コーディネーターを中心とした小さな規模の話が集まって、ネットワークとなり、広がっていく。
- ・Facebook の活用やネットワークを作っていくことも一つの手法である。
- ・趣味や健康寿命をきっかけにすればよく、参加のハードルを下げることを考える必要がある。
- ・仲間づくりからできるリーダーを支援することも必要ではないか。また、参加者の負担を減らすことも継続性の観点から重要になる。
- ・趣味を超えて担い手を作るためには、負担の減らすことや場所づくりが重要になるのではないか。老人いこいの家やこども文化センターの活用はどうか。
- ・活動のキーマンになっている人とこれから担い手になる人を結びつける場（講座・集まり）が必要だと思う。また、場所に関しては、行政の施設だけでなく、民間（企業、個人経営、学校）で使用していない時間での提供を探るといふこともあり得るのではないか。民間のCSR の観点から可能性があるのでは。
- ・弱者支援の視点も必要ではないか。

2. その他

- ・第3回（仮称）市民活動・絆づくり検討部会の議事要旨についての修正がある場合は、3月8日（水）までに事務局へ連絡いただく旨を伝えた。
- ・第3回（仮称）市民活動・絆づくり検討部会での傍聴者からのアンケート結果の取扱いについては企画部会で行うことを確認した。
- ・池松部会長が健康上の理由から部会長職及び委員職を辞することを報告するとともに、部会長不在の件については次回の企画部会で検討し、3月の全体会議で報告することとした。また、第3回全体会議では、鈴木副部会長から部会内容について、報告することを確認した。

以 上